

- 挨拶 ①禅問答で相手の悟りの深淺を試す ②応答 ③儀礼の言葉 ④祝意謝意
- 阿吽 あうん a-hum ①最初と最後 ②口の開閉（仁王・狛犬） ③呼気・吸気「阿吽の呼吸」
- 阿伽 あが argha 仏前に供え水
- 諦める あきら 断念する 思いを断つ
- 明け六 あつ 卯の刻（6時頃）に鳴らす鐘⇔暮六つ
- 足を洗う 賤しい勤めをやめて堅気になる
- 悪口 あつく 人を悪し様に言う 十悪（謀反・謀大逆・謀叛・悪逆・府道・大不敬・不孝・不睦・不義・内乱）の一つ
- 痘痕 あばた arbuda 痘瘡が治った後に残る痕跡
- 甘茶 あま ガクアジサイの変種 灌仏会に甘露になぞらえて釈迦像に掛ける甘い茶
- 天の邪鬼 あま 人に逆らい邪魔をする 人の言に逆い片意地を張る
- 有り難う 感謝の意を表す挨拶語
- 行火 あんか 温熱器
- 安心 あんじん 信仰心を深めて迷いが無いこと → あんじんけつじょう 安心決定
- 意識 mano-vijnana 認識 思考する心 精神活動
- 意地 ①気立て 心根 ②意志を通そうとする心 ③物欲
- 以心伝心 ①師匠の真理を弟子に伝える ②言葉でなく互いの心意が相手に伝わる
- 一期一会 いちごいちえ 生涯に一度限りまみえること →「一期一会の縁」
- 一念発起 ほっし ①直ちに信仰の道に入ること ②思い立って決心する
- 一蓮托生 いちれんたくしょう ①死後極楽往生して同一の蓮華に身を託す
②善悪に関わらず運命を共にする
- 因果応報 いんがおうほう 過去の善悪の行いに応じて現在の幸・不幸の果報が生じ、現在の行いが未来の果報を生む
- 因縁 いんねん 因は直接的な原因、縁は間接的な条件 因と縁から結果が生じる →運命
- 引導 いんどう 迷っている衆生を仏道に導く 葬儀の時、導師が転迷開悟の法話を説く
- 有頂天 ①世界の最も上に位置する処 ②熱中して我を忘れる 得意絶頂
- うろろう 方向が定まらず動き回る様 うろつく
- 回向 えこう ①功德を自らと他者の利益のために振り向ける ②死者の成仏を祈り供養する
- 会者定離 えしやじょうり 会うものは必ず離れる運命にある（この世の無常）→生者必滅会者定離
- 縁起 万物は実態はなく様々な原因や条件によって成立している →因果 因縁
- 大袈裟 おおげさ 物事を実質以上に誇張していること →大仰
- 往生 おうじょう ①この世を去り別の世界に生まれ変わる 極楽浄土に生まれる ②死ぬこと
③諦める ④閉口する
- お釈迦になる 地藏・阿弥陀の像を釈迦像と間違っって鑄造したことから造り損ねの意
- お世辞 相手を喜ばせようと実際以上にほめることば
- 億劫 おっくう 面倒くさく気が進まない
- 開枕 かいちん 開被安枕の略 就寝の意 午後9時に就寝の合図に鐘を搗く 九時就寝（消灯）

餓鬼 ^{がき} ①悪業の報いで餓鬼道に落ちた亡者 ②幼児のことを卑しんで言う語

覚悟 ^{がくご} ①迷いを去り道理を悟る ②記憶 暗唱 ③心構え ④諦める 観念する

学生 ^{がくせい} 学業を修める者

過去 ^{かこ} ①過去世の略 ②過ぎ去った時 以前 前歴

我慢 ^{がまん} ①自分を偉ぶり他を軽んじる 高慢 ②我を張り他に従わない 強情 ③忍耐

伽藍堂 ^{がらんどう} ①寺院の中で伽藍神を祀ってある堂 ②大広間

瓦 ^が kapala 粘土で焼いた屋根材

勧請 ^{かんじょう} ①神仏の来臨を請う ②神仏の分霊を請じ迎えて祀る

堪忍 ①堪え忍ぶ 我慢する ②怒りをこらえて許す 勘弁

観念 ①観察して思念する ②諦める 覚悟 ③意識の内容 ④見解

頑張る 「我に張る」の転 ①我意を張り通す ②忍耐努力する ③占領して動じない

帰依 神仏に服従してすぎる

機根 仏の教えに従い修行しうる衆生の素質 →気根

喜捨 喜んで寺社に寄進する 貧しい人に施しをする

祈祷 神仏に祈ること

喫茶 お茶を飲む

行儀 仏教の儀式 修行の規則 ②作法 ③行為 行状 →行儀作法

行水 清水で身体を洗い清めること

鬼門 ^{おんよう} 陰陽道で万事に忌み嫌う方角 (北東)

救済 ①宗教による人間の究極的な救い ②救い助ける

境界 境 区域

教師 ①宗教上の教化を司る人 ②児童生徒を教育する人 教員 ③学術・技芸指導者

行持 仏道を修行すること

教授 大学など学術・技芸を指導する人

恐怖 恐ろしく感じる事

救済 宗教による人間の究極的な救い ②救助

嚏 ^{くしゃみ} 鼻粘膜の刺激による反射運動

愚痴 言っても仕方ないことを言って嘆くこと

功德 ①善行の結果として与えられる神仏の恵み 御利益 ^{ごりやく} ②善行

工夫 ①精神修養の心得 ②最も良い方法を考えること

供養 三宝 (仏・法・僧) や死者の霊に供える供物

庫裡 寺の台所

暮れ六 ^{むつ} 酉の刻 (午後6時頃) 鳴らす鐘

葷酒 ^{くんしゅ} 葷 (ネギやニラなど臭気の強い野菜) と酒 「葷酒山門に入るを許さず」

境内 ①社寺の境域内 ②境界の内

敬礼 ①敬う ②敬意を表し礼をする

袈裟 ^{けさ} kasaya 僧侶が左肩から右腋下に掛けて衣を覆う布

化身 ①衆生済度のため神仏が人間の姿になって世に現れること

解脱 ^{げだつ} vimoksa 束縛から離脱して自由になること 苦悩から解放され絶対自由の境地に達すること 涅槃

決定 けつじょう 決まっていること 疑いないこと
結集 けつじゅう 仏陀の教えを集め教団を統一し教典を編集したこと
外道 げだう 仏教以外の教え 邪説、またそれを説く者
下品 げぼん 生前に積んだ功德の違いに応じて九品を上中下に三分した最下位の物 ②下等
見聞 見聞きして得た知識や経験
玄関 禅寺の方丈に入る門 玄妙な道に入る関門 正面入口
現在 三世の一つ 現世 今生 ②過去と未来の接点
業 ごう **karman** ①行為・言語・心など三つの行為 ②業腹の略
講師 講演や講義をする人 教授
向上 仏教で悟りの知見 ②優れた状態に達する 進歩 ③より上 ④最上 最高
極楽 **Sukhavati** 全く苦患のない安楽な世界 阿弥陀仏の居所、浄土
後光 仏・菩薩の体から放射する光輝 仏像の背後に添えた金色の輪 光背 光輪
乞食 こじき ①僧が食物を乞う修行の一つ ②物貰い 乞食
ご馳走様 ①ふるまい もてなし ②豪華な食事
ご利益 りやく 神仏が衆生に与える利益 靈験 ②効能
勤行 ごんぎょう ①仏道修行を勤める ②時を定めて仏前で読経する 礼拝
権現 仏・菩薩が衆生救済のため種々に姿を変えて権に現れること 権化
言語道断 ①仏教の奥深い真理は言葉で説明できない ②言葉で表現できないこと
根性 ①心根 性根 ②困難に挫けない強い性質
在家 ①出家していない人 俗人 ②民家
賽銭 ①神仏に奉る賽物の銭 ②神仏に参詣して奉る銭
済度 仏・菩薩が衆生を救済して涅槃に渡らせること
悟り ①迷いが解けて真理を会得すること ②理解する 気づく 知る
作法 ①正しい起ち居・動作の方式 ②決まり しきたり
三界 衆生が生死輪廻する三種の世界（欲界・色界・無色界） 三世
三昧 さんまい **samadhi** 心が安定した状態 一つのことに心が集中できた状態 一心不乱
懺悔 ざんげ キリスト教で罪悪を自覚し、告白して悔い改めること
三身 三身仏（法身・報身・応身）
三途の川 さんず 死者が七日目に渡るといふ冥土の途中にある川
三宝 さんぼう 仏様・法（仏が説いた教え）・僧（仏に従うお坊さん）
山門 さんごう 寺院は山号を有しているので、寺院の門のことをいう
自覚 ①自ら悟りを開くこと ②自分のあり方をわきまえる 自己意識
四苦八苦 ①四苦（生・老・病・死）
愛別離苦 あいべつりく （愛する者との別れる苦しみ）
怨憎会苦 おんぞうえく （怨み憎しみ合う同士が会う苦しみ）
求不得苦 ぐふとくく （求めるものを得ることのできない苦しみ）
五陰盛苦 ごじょうおんく （「元気を持て余す」という苦悩）

※五陰とは、色受想行識の五つを指し、人の精神作用を構成する五つの要素で「空」である。空は、地（大地の骨）・水（血や体液）・火（体温）・風（呼吸）からなる。

地獄 **naraka** 奈落 六道の一つ 現世で悪業をはたらいた者がその報いとして死後に

苦果を受ける処

自業自得 自ら招いた悪業の報いを自らで受けること 自業自縛

自然 ①神により生成されたもの ②人の力が及ばないこと ③あるがまま 天然

子孫 ①子や孫 ②血筋や家系 末裔

七転八倒 転げ回って悶え苦しむこと

十戒 十条の戒律

不殺生戒 (生き物を殺さない)

不偷盗戒 (他人の物を盗まない)

不邪淫戒 (配偶者以外と交わらない)

不妄語戒 (嘘をつかない)

不飲酒戒 (飲酒をしない : 「般若湯」ならばよい)

不塗飾香鬘戒・不香油塗身戒 (着飾ったり香水は使わない)

不歌舞觀聽戒 (歌舞音曲 : 歌ったり踊ったりしてはいけない)

不坐高广大牀戒 (坐が高くて広いベッドには寝ない)

不非時食戒 (正午以降は食事をしない)

不築金銀宝戒 (金銀宝石などを求めない)

実際 ①存在するものの真実 ②現実 事実

慈悲 仏・菩薩が衆生を哀れみ慈しむ心 苦を除く ②慈悲 情け

邪見 邪な見方 誤った考え

娑婆 saha 苦しみが深い忍耐すべき世界 この世 ②自由な世界 俗世間

邪魔 ①仏道修行を妨げる悪魔 ②障害 妨げ

じゃんけんぽい じゃんけんのかけ声

自由自在 思いのまま

衆生 sattva 生きとし生けるもの 一切の生物 人類や動物

授業 学術・技芸を教え授けること

数珠 仏・菩薩を礼拝するとき手に掛けるもの

成就 成し遂げる できあがる

上品 ①最上位 最高級 ②気品がある 品がよい ③品質がよい

修行 ①仏の教えを実践する ②学門・技芸を修練する

宿命 前世から定まっている運命

種子 植物のが受精して成熟したもの

執着 強く心にとらわれること 思い込んで忘れられないこと

住職 住持食の略 寺の僧侶

出家 家を捨て仏門に入ること ⇄ 在家

出世 ①諸仏が衆生済度のためこの世に出現すること 仏道に入り和尚の位階を受ける

②この世に生まれ出ること ③昇進が早いこと 身分や地位が高くなること

成仏 仏になること 煩悩を断ち悟りを開くこと ②死ぬこと

しょっちゅう 始終 絶えず 普段

精進 ①ひたすら仏道修行に励むこと ②心身を清め行いを慎むこと

正念場 性根を発揮する重要な場面 大事な場面 局面

丈夫 達者 健康 壊れにくい
食堂 食事をする部屋 料理を食べさせる店
書写 ①教典を書き写す ②文字を書く
所詮^{しょせん} ①経文に表されることわりの文句 ②詰まるどころ 結局
所得 収入 利益 生産活動の対価として支払われる報酬
所有 自分の物として持っている物
真空 ①真実の空 ②物質のない空間 ③空白の状態
信心 信仰心 神仏を信仰する心
人身 ①人の体 ②個人の身分
信女 「清信女」の略 ①女子の仏教信者 ②女子の戒名の位
施主 ①寺や僧侶に物を施す人 ②法事や葬儀を行う当主 ③建築主
刹那^{せつな} ksana 極めて短い時間 一瞬
莊嚴^{しょうげん} ①仏堂や仏像を天蓋などの仏具で飾る ②おごそか 重々しく立派
卒塔婆 stupa ①塔 ②追善供養のため墓に立てる板
大黒柱 ①家の中央に最初に立てる柱 ②家や団体の代表者
醍醐味^{だいごみ} ①醍醐のような最上の教え ②醍醐のような味 美味をほめることば
大事 ①出家して悟りを開く ②重大事件 ③危ういこと 容易でない
大丈夫 ①立派な男子 ②頑固 ③確かに 間違いなく
台無し ①物事がひどく傷んでいること ②全然 まるで
凧 細い竹籤に紙を貼り、糸をつけて空に飛ばす玩具
他生の縁 生まれる前から結ばれた因縁
達人 ①学術・技芸に秀でた人 ②物事の道理に通じた人
達人^{たっしや} ①物事に熟達した人 達人 ②抜け目のない人 ③身体が丈夫な人 壮健
だらしない 節度がない しまりがいい
他力本願 ①阿弥陀仏の本願に衆生がそれを頼って成仏を願う ②他人を当てにする
達磨^{だるま} Bodhidharma ①禅宗の始祖 ②達磨大師の座禅像を模した張り子の玩具
檀那・旦那^{だんな} dana 財物を施与する仏家信者 施主 ②召使いが主人を呼ぶ語
③夫 主人 ④得意客をさして呼ぶ語
知恵 ①宗教的な叡智 ②物事を適切に処理する能力 ③哲学的知識
畜生 ①畜生道に生まれた者 ②禽獣・虫魚の総称 ③人を罵って言う語
知事 ①禅寺の庶務を司る維那^{いなの} ②都道府県の首長
弔問^{ちようもん} 遺族宅を訪問してお悔やみを言う 弔慰
長老 ①仏道に優れ、歳長けた僧侶 ②高齢者の総称 ③禅宗寺の住職
④経験者 老練
通達 ①深くその道に達する ②告げ知らせる
弟子 師に従って教えを受ける者 門弟 教え子
徹底 底まで貫き通る 中途半端でない
伝供^{でんぐ} ①仏や祖師に供物を供えるために何人かの僧が並び、供物を手渡しで順次伝送
すること ②屋根瓦などを手渡しすること 伝供取り^{でんぐとり}
道具 ①仏道修行の用具 仏具 ②物作りや事を行うのに用いる器具の総称 ③武器

道場 ①修行の場所 ②武芸の練習場所 ③訓練のため団体生活をする所
堂々巡り ①社寺の堂の周りを巡って祈願する ②同一の場所を巡ること
同房 同じ部屋 同居すること
東司 とうす 禅寺で「便所」のことを言う
塔婆 とうば ①卒塔婆 ②墓
道楽 ①趣味に耽り楽しむ ふけ ②物好き 好事 ③遊興に耽る
得度 ①剃髪して仏門に入る ていはつ ②生死の苦海を渡り涅槃の彼岸に渡ること
どっこいしょ 力を入れたり大儀なときの掛け声 ②民謡の囃子詞 はやしことば
内緒 内々の秘密ごと
七転び八起き 度重なる失敗にも屈せず奮起すること
奈落 ならく **naraka** ①地獄 ②物事のどん底 ③劇場の舞台の下
仁王立ち 厳めしく突っ立つ
肉眼 ①眼で見る眼識 ②眼球 ③視力
人間 じんかん ①人の住むところ 世の中 ②社会的存在で人格を持った人 人類
念仏 阿弥陀仏の名号を唱えること
配役 ①仏事の役を割り当てる ②俳優の役を決める 役割
馬鹿 **moha** ①無知(僧侶の隠語) ②非常識 愚か者 ③無益 ④役立たず
万歳 ばんざい ①長い年月 ②いつまでも生きること ③目出度いこと
般若湯 はんやとう 僧侶の隠語で「酒」のこと
破壊 打ち壊すこと
悲観 ①この世に厭世観を起すこと えんせいかん ②落胆 失望
彼岸 ①生死の海を割ったって到達する終局 ②彼岸会の略
③春分/秋分の日前後七日間
比丘 びく **bhiksu** 仏門に帰依して具足戒を受けた男子 修行僧
比丘尼 びくに **bhiksuni** 出家して具足戒を受けた女子 尼僧
火の車 ①地獄にあるという火が燃えている車 ②生計が苦しいこと
秘密 ①真言密教 ②隠して人に教えないこと 非公開 ③内緒
平等 全てのものが一様で等しい 偏りや差別がないこと
不覚 ①正体がないこと ②思慮分別がないこと
不思議 「不可思議」の略 ①原因や理由が解らないこと ②怪しく思う
普請 ふしん ①大衆に請うて搭堂の建築の労役に従事して貰う ②建築土木工事
布施 ふせ **dana** 人に物を施し恵むこと ②僧侶に物品を施し与える
不退転 志を貫き屈しないこと
不断 普段 ①絶え間がない ②平生 平常
分別 ぶんべつ 種類により選り分ける 区別をつける
無事 ①変わったことがない 平穩 健康なこと ②自然のまま ③暇
平常心 平静な心
変化 ①神仏が仮に人の姿となって現れる 権化 ②形が変わって違った物になる
法会 ほうえ ①多くの僧侶を集め仏の教えを説く会合 ②死者の追善供養
法衣 ほうえ 尼僧が着用する衣服

法事 ①仏法の行事 法要 ②死者の追善供養のため七日毎の仏事や年忌
坊主 ①寺の住職 僧侶 ②頭髪を剃った人 童坊 ③男児
方便 ①衆生を巧みに教え導く手段 ②目的達成のための手段 便宜
菩提寺 家代々が帰依し追善供養を営む寺 掛かり寺
盆 ①「盂蘭盆」の略 ②浅く平たい物を載せる道具
煩惱 klesa 衆生の心を悩ませる妄念 百八煩惱
凡夫 ①煩惱に束縛されて迷っている人 ②凡人 普通の人
魔羅 mara 仏道修行の妨げになるもの 人心を惑わすもの ②陰茎（僧侶の隠語）
三日坊主 飽きやすく永続きしないこと（またはそういう人）
冥加 ①「冥加金」の略 ②神仏の助力 冥利 ③報恩 お礼
冥利 ①神仏が与える恩恵 冥加のご利益 ②善行の報い（御利益） ③恩恵
未来 ①三世（過去・現在・未来）の一つ ②来世
無我 ①私心がない 我意がない 無心 ②我を忘れて没頭する
無学 ①煩惱を断ち、もはや学ぶことがない境地 ②学問や知識がないこと
無垢 ①煩惱を離れて汚れがないこと ②心身の汚れがないこと うぶ
無常 ①一切の物は生滅変化していて常住でないこと ②人生のはかないこと
無分別 ①ことばや概念に捕らわれないこと ②分別のないこと 思慮がない
冥土 ①死者の霊が迷い行くところ ②黄泉
名利 名高い寺
冥福 ①死後の幸福 ②死後、追善供養の仏事
迷惑 ①迷うこと ②困り苦しむ 難儀する
滅相 ①物事が消滅する様 ②法外 とんでもない
滅法 ひどく道理に外れていること とても素晴らしいこと 法外
勿体ない ①神仏などに対して不都合なこと ②過分で畏れ多い かたじけない
③無駄になるのが惜しい
門徒 ①仏門を同じくする信徒 信者 ②門人 教え子
問答 質問と応答
夜叉 人を害する鬼神である反面、財宝神として信仰された
遊山 ①禅家の修行を終え、諸方に遊歴すること ②野山に遊びに出る
油断 不注意 注意を怠る 気を許す
用心 ①心を用いる ②予め注意する 万々に備える
欲 欲しがる心
抑止 押さえ止めること
礼賛 ①三宝を礼拝して功德を讃歎する ②褒め称える
力士 ①「金剛力士」の略 ②力の強い人 ③相撲取り
立身 ①一人前になること ②出世すること
立派 ①一つの宗派を立てること ②文句のつけようがない
臨終 死に臨む 死に際 末期
輪廻 samsara 衆生が三界六道に迷いの生死を重ね止まることがないこと 流転
融通 ①融けあって通ずる ②金銭の流通 やりくり

老婆心 必要以上の親切心

六道 衆生が住む六つの迷界（地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人間道・天上道）

六根 人間の認識の根幹である六つの器官（眼・耳・鼻・舌・身・意）

六根清浄 六根のそれぞれが種々の功德を有して超人的能力を発揮するとともに、清浄を祈願する 靈山に登山する際、金剛杖を携えて六根清浄を唱える。

律儀 ①義理堅いこと ②健康なこと 壯健

脇侍 本尊の両脇の脇士

阿弥陀如来に観音菩薩と勢至菩薩 釈迦如来に文殊菩薩と普賢菩薩

薬師如来に日光菩薩と月光菩薩

輪袈裟 袈裟の一種 首に掛け胸に垂らす輪状の袈裟